

# “海の韋駄天” ミサイル艇はやぶさ 新潟西港艦艇広報



新潟地本（本部長 1陸佐 小見明之）は4月30日（土）新潟西港でミサイル艇はやぶさ（艇長 3海佐 牛島俊弘）の艦艇広報を行いました。海上自衛隊第2ミサイル艇隊所属のはやぶさは最高速力40ノット（約75km/h）を誇る高い機動性を活かして多様な任務に従事している艦艇で、新潟には3年ぶりの寄港となりました。艇内見学が行われる特別公開は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事前公募による当選者のみでしたが、艇外の見学にも多数の人が訪れ人気と注目度の高さが伺えました。

当日は天候に恵まれ、新潟地本は広報ブース（自衛隊説明、ガラポンコーナー、南極の氷展示）を設置、第30普通科連隊（連隊長 1陸佐 遠藤祐一郎）の車両展示（高機動車、軽装甲機動車）と新潟地本マスコットキャラクター「マモル・マイ」がはやぶさ前甲板に登場して見学者を出迎えました。広報ブース内では海上自衛隊の説明を聞いたり、南極の氷に触れその冷たさや、普通の氷と異なる気泡を含んだ凍り方に驚き、溶けるときに「ぷちぷち音がする。」と言った声や展示車両の前で記念撮影を楽しむ姿が見られました。



見学が始まると、艇内に入り乗員から任務や装備についての説明を聞き「色々な装備があり驚いた。」「思ったより狭いし揺れたけどミサイルや主砲がかっこよかった。」と言った感想や、横を通過する佐渡汽船のジェットフォイルと同じ推進システムであることに驚く姿を見せていました。

見学終了後には「また新潟に来た時は是非見学したい。」「将来自衛隊に入ってはやぶさに乗りたい。」と言った学生や乗員へ感謝の寄せ書きを書く姿もあり海上自衛隊への親しみを深める高い広報効果がありました。

新潟地本は今後も艦艇広報を積極的に行い、海上自衛隊の魅力を最大限に発信していきます。

